

この音声問題は、中学校第一学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、中学校一年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。
今から一回だけ、音声による問題を放送します。よく聞いて、あとの問いに答えてください。問題用紙は開かないでください。表紙のあいているところにメモを取りながら聞きましょう。

田中さんの学級では、「給食の時間を改善しよう」というテーマで話し合いを行っています。今から放送するのは、田中さんの班の話し合いの様子です。会話は、司会の田中さんから始まります。

田中 では、今から三班の話し合いを始めます。私達の学級の給食の時間は、いつも配膳に時間がかかりすぎて、食べる時間が足りなくなっています。そこで、これから、この問題を解決するための方法について話し合います。意見を聞く人は、自分の考えとの共通点や相違点をメモしながら、聞いてください。意見がある人は、挙手をお願いします。

(間) 山田さん。

山田 はい。わたしは、給食当番以外に、配膳係を各班から一人ずつ出す方法を提案します。なぜなら、現在のように各自で取りに行くやり方が、配膳に時間がかかる原因だと考えるからです。

田中 山田さん、それはどういうことですか。少し具体的に教えてください。

山田 はい。たとえば、みんなが並んで待っている間に、立ち話に夢中になる人がいたり、列に割り込む人がいたりします。そのために、給食を受け取るのが遅くなっています。だから、各自で取りに行くよりも、各班の配膳係が自分たちの班に配ったほうがいいと思います。当番と配膳係以外は、静かに席に座っていれば、配膳係もスムーズに配れるはずです。

田中 ありがとうございます。山田さんは、配膳係を各班から一人ずつ出す方法を提案しました。今の山田さんの提案に対する意見はありませんか。(間) 中村さん、どうぞ。

中村 はい。わたしは、山田さんの、班から一人ずつ配膳係を出すという提案では、みんなの協力するという気持ちは育たないと思います。ですから、現在のやり方のままで、みんなで協力して配膳することを提案します。なぜなら、全員が一番慣れている方法なので、少し工夫をすれば配膳が速くなると考えたからです。たとえば、並ぶ順番や食器の取り方などのルールをきちんと決め、班ごとにまとまって順に移動すれば、スムーズに流れるようになると思います。

田中 中村さんは、山田さんの提案と違い、現在のやり方のままで少し工夫することを提案していました。ただし、班を基準にして活動することでスムーズな配膳にするという点では、共通していたようです。村上さんは、二人の提案を聞いてどのように考えましたか。

村上 はい。わたしは、……。

田中さんの学級の話し合いはまだ続きますが、放送はこれで終わりです。
それでは、問題用紙を開いて始めてください。